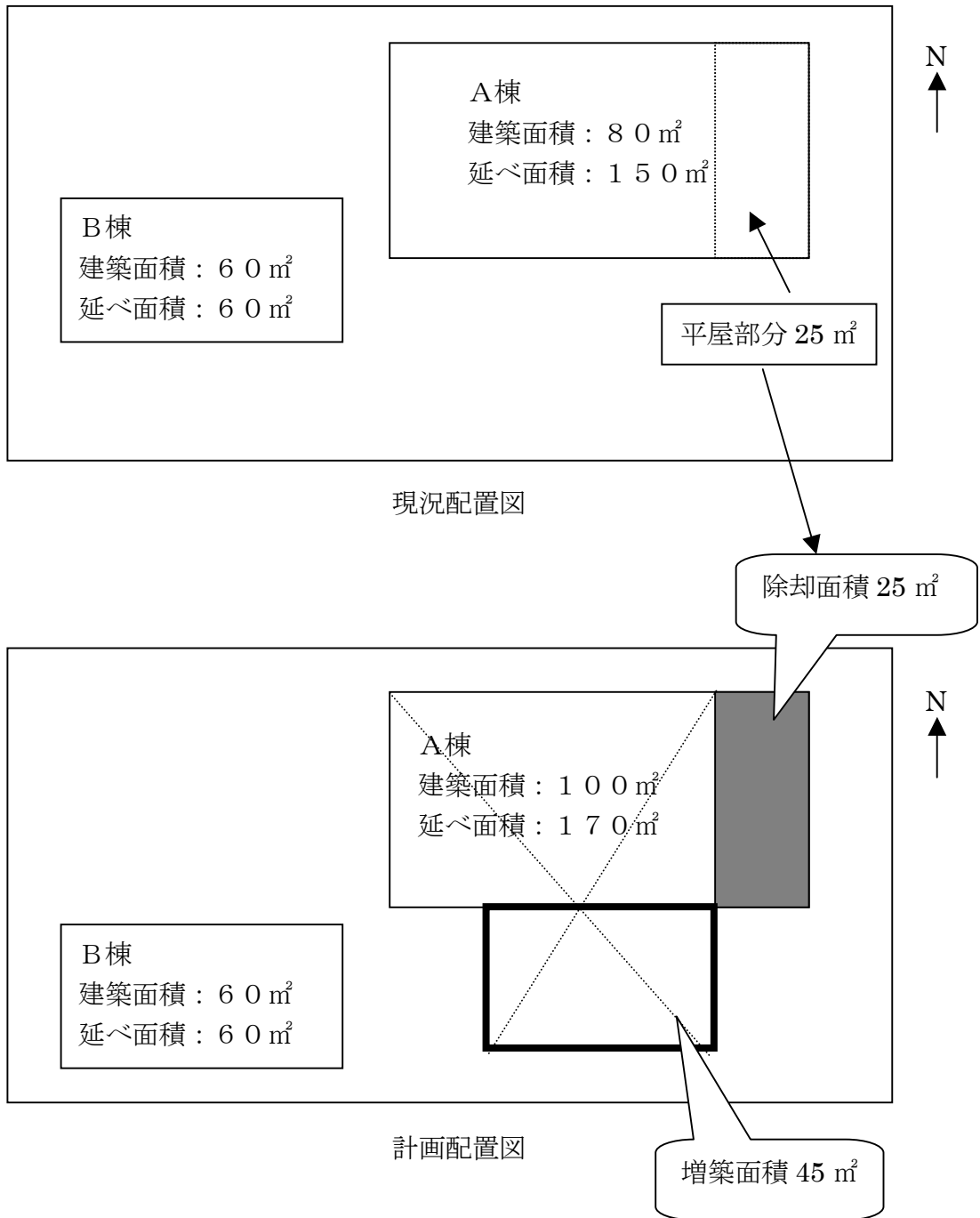


## 不適格調書および現況の調査書の記入例

想定建物：同一敷地（敷地面積 300 m<sup>2</sup>）内にA棟とB棟が別棟で建っていることとし、A棟への増築（45 m<sup>2</sup>）を例に説明します。  
本工事ではA棟の一部（25 m<sup>2</sup>）を除却するケースを想定しています。本申請以前に増築工事などはないこととします。



今回の確認申請を基に記入

記入例

不適格建築物調書

※台帳番号	第	号	※調書番号	第	号	
防火地域又は準防火地域の別			その他の地域・地区			
建築物の所在地						
所有者、占有者又は管理者の氏名						
建築物の用途	建築の年月日			基準時		
建築年月日	平成〇年〇月〇〇日	適合しなくなった日	平成12年6月1日			
基	敷地面積	300.00㎡	建築面積	80.00㎡	延べ面積	150.00㎡
	棟数	1 (別棟を除く増築対象棟数)		建ぺい率	26.67%	
本 数 別	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	構造種別	参考事項		
	1 80.00	150.00	木造	←A棟		
	2					
	3			本申請の工事で一部除却する場合でも、除却分を含んだ面積を記入 (今回の例では125㎡ではなく150㎡)		
	4					
	5					
基 準 時 以 後 の 数	工事種別	本申請以前	本申請	計		
	1 増築	0	45.00	45.00		
	2					
	3	本申請以前の増築面積	本申請の増築面積	1/2増築か確認 この例では 150/2=75㎡ まで可能		
	4		空欄でOK			
	本申請の確認済証交付年月日及び確認済証番号		年	月	日	第
備 考	該当する不適格条項を記入 (この例では令46条、47条。)					

- [注意] (1) ※印欄は、申請者において記載しないでください。  
 (2) 本調書には、配置図及び平面図を添付してください。

# 現況の調査書

**建築主の名前を記入(漏れ多いので注意)**

私は、今般下表の「3計画概要」の計画をしていますが、既存建築物の現況を調査しましたので報告いたします。  
この調査書に記載の事項は、事実と相違ありません。

株式会社 兵庫確認検査機構 様

平成 年 月 日

建築主 住所  
氏名  
電話番号

**日付の記入**

**※建築主の押印**

**建築主の  
必要事項を記入**

**※代理者の  
押印**

1 代理者	① 氏名		印
	② 住所		
	③ 電話番号		
		<b>代理者の 必要事項を記入</b>	
2 調査者	① 資格	( 〇級 ) 建築士 ( 〇〇 ) 登録 第 〇〇〇〇〇 号	
	② 氏名	<b>調査者の氏名を記入</b>	印
	③ 建築士事務所名	( 〇級 ) 建築士事務所 ( 〇〇 ) 知事登録 第 〇〇〇〇〇 号	
	④ 所在地		
	⑤ 電話番号		
		<b>調査者の 必要事項を記入</b>	<b>※調査者の押印</b>
3 計画概要	① 敷地位置		
	② 現況主要用途		
	③ 予定建築物用途		
	④ 工事種別	<input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替え <input type="checkbox"/> 用途変更	
	⑤ 予定建築物確認申請予定年月日	平成 年 月 確認申請予定	<b>←今回の申請の予定年月を記入</b>
<b>該当項目に チェック</b>		<b>必要事項を記入</b>	
4 調査結果概要	① 集団規定	<input type="checkbox"/> 適法 <input type="checkbox"/> 既存不適格	
		既存不適格条項	
	② 構造耐力関係規定	<input type="checkbox"/> 適法 <input type="checkbox"/> 既存不適格	
		既存不適格条項	<b>不適格条項を記入(令〇〇条)</b>
	③ 上記以外の規定	<input type="checkbox"/> 適法 <input type="checkbox"/> 既存不適格	
		既存不適格条項	
④ 増改築等の履歴		<b>履歴の有無を記入</b>	
⑤ 既存部分の劣化状況		<b>既存部分の劣化状況を記入</b>	
<b>それぞれ 該当項目に チェック</b>			